



Japan Region

Volume 17

No. **3**

April 1999



目 次

Table of Contents

Vol. 17, No. 3, April 1999

日本リージョン会長メッセージ	Message from Japan Region President	1
I T C 公式訪問者の横顔	Profile of the ITC Official Visitor	2
日本リージョン事務局通信	Japan Region Office Reports	4
第 17 回日本リージョン年次大会案内	Guide for ITC Japan Region 17th Annual Conference	5
委員会委員長メッセージ	Messages from Committee Chairs	6
お知らせ	Information	7
大会準備委員会より	From Annual Conference Committee	8
第 58 回 I T C 世界大会の開催をめざして	Toward ITC 58th Annual Convention	9
考えてみましょう。これからの I T C	Food for Thought for the Future of ITC	10
今、私達のクラブは…	“Now, Our Club is…”	13
情報スペース	Information Space	15
編集室便り	From Editor’s Room	16

日本リージョンホームページ
<http://www.nttl-net.ne.jp/itcjp>

日本リージョン会長メッセージ

Message from Japan Region President



「誇りをもって未来へ」

日本リージョン会長 江 藤 万里子

日本のITCにとって、今年はITCが導入されて50年の喜ばしい年であると共に、世界大会が日本で初めて神戸で開かれようとしている記念すべき年です。

世界大会に先立つ一ヵ月前の京都で行われるリージョン大会には、ITCディビジョンIV副会長ヒラリー・ブラウン様を公式訪問者としてお迎えし一日大会を実施出来ます事を嬉しく思っております。

諸外国における所属会員減少の昨今、日本に於いては経済不況にも拘わらず、ここ数年来会員は常に増え続けております。しかし、これからのITCのために考えなくてはならない事が多々あると思います。仕事を持っているメンバーへの対応、永年継続会員のマンネリ化を防ぐための新しい企画、また若年層向け及び熟年層向けそれぞれのプログラム対策なども考えなければならない時が到来しているのではないかと考えます。これは会員であるあなた方それぞれに考えて頂きたい問題です。

このような事を考慮に入れていただいてリージョン大会に出席し、今年の世界大会に出席できる幸せをチャンスとして、よりよき体験を通して考え「誇りをもって未来へ」進みましょう。

“To the Future with Pride”

Mariko Eto
President of Japan Region

This is a delightful year for Japan ITC. Not only will we celebrate our 50th anniversary, we will also host the Convention in Kobe for the first time in Japan.

A month prior to the Convention, it will be my pleasure to have one-day Region Conference with ITC Division IV Vice President, Hilary Brown as our official visitor.

Despite decreasing membership in many countries for several years, Japan Region has been enjoying an increase, even though Japan's economy has been in a recession. There is, however, much food for thought for the future of Japan ITC. It is time that we thought of measures for the members who hold outside jobs, new plans for long-term members to avoid being stereotyped, and programs good for the young members and for the older members. I think that these matters should be considered by each of the members.

With this thought in mind I hope you will attend the Region Conference and take advantage of the opportunity to attend the Convention. Through these stimulating experiences, let's go forward "To the Future with Pride".

ITC 公式訪問者の横顔

Profile of the ITC Official Visitor

We interviewed through e-mail Ms. Hilary Brown, Division IV Vice President who will visit Japan as the official visitor to the Japan Region 17th Annual Conference.

Tell us about your career in ITC.

I have been a member of ITC for 20 years. I have held every office at club level excepting treasurer, education vice president and president at council level, president, president elect, education vice president, secretary at region level. Now I am Division IV Vice President at international level.

Could you tell us about your job?

I am a teacher by qualification and have spent the past 15 years in education administration. Most recently I completed 9 years on Taupo-nui-a-Tia College Board of Trustees, the last 6 as chairman. I did not stand for re-election again to this board because of my commitment to ITC and the Division IV Vice President's position. I am at present on the steering committee to get a Polytechnic established in Taupo.

Would you tell us about your family?

I have been married for 27 years to Pat who is a chartered accountant in his own practice. We have 4 children. Gaby, our daughter who is 25, works for Foreign Affairs and has her Masters degree having majored in Chinese. Nicholas who is 24, is a hydrologist and has his Masters in Earth Sciences. Ben is 21 and about to begin his 4th year at university studying finance and economics. Sam is 20 and a ski instructor in Switzerland.

I am one of 3 sisters. My eldest sister is at present trying to get a satellite unit for ITC established in her city. My mother is still alive and keeps very busy. My father sadly died just after I was installed as President Elect for New Zealand Region. He was very proud of my achievement.

What are your favorite things? Tell us your favorite food, hobby, or whatever you like.

I get a lot of pleasure from both my vegetable garden and my beautiful flower garden and pond. I love walking anywhere, excepting up very steep hills. We also have a beach cottage over on the coast and I love swimming in the sea, surfing in the waves and walking along the beach with the wind blowing in my hair. I also collect agar (seaweed) which is sold to Japan to be made into agar moulds for laboratory technicians to grow cultures on.

My husband and I have travelled extensively and like to eat the food of the country in which we are travelling. We have travelled through Canada, United States, Mexico, and many other countries around the world. We love to travel and meet people. I am really looking forward to my first visit to Japan.

What will you want to do when you come to Japan?

I want to meet as many ITC members as possible and would love to see something of Kyoto as it is a World Heritage Trust area.



第17回日本リージョン年次大会に公式訪問者として出席される
I T CディビジョンⅣ副会長ヒラリー・ブラウン様にEメール
を通じてインタビューしました。

I T C歴をお聞かせください。

私は20年間I T Cに所属しています。クラブレベルでは、会計を除きすべての役職を務めました。カウンスルレベルでは、会長と副会長を、リージョンレベルでは、会長、次期会長、副会長と書記を務めました。現在国際レベルでのディビジョンⅣ副会長を務めています。

お仕事についてお聞かせ下さい。

私は教師で、この15年間は教育機関で働いてきました。最近のものは、タウポ・ヌイ・ア・ティア大学理事会の役員を9年間、うち6年は理事長を務めました。今回はこの理事会の役員選挙に立候補しませんでした。その理由はI T CやディビジョンⅣ副会長の務めに全力を傾注するためです。現在は、タウポに職業学校を設立する委員会で仕事をしています。

ご家族についてお聞かせ下さい。

結婚して27年になります。夫パットは会計士の事務所を個人で経営しています。子供は4人です。長女のガビー25才は外務省で働いています。大学では中国語を専攻し、修士号を修得しました。長男ニコラス24才は水文学者で、地球科学修士を修得しています。次男ベン21才は大学4年生になり、財政学と経済学を学んでいます。三男サム20才はスイスでスキーのインストラクターをしています。

私は3人姉妹の一人で、一番上の姉はI T Cの衛星ユニットを設立しようとしています。母は健在で忙しい日々を過ごしています。父は残念なことに、私がニュージーランドリージョンの次期会長に就任した直後にこの世を去りました。私の活躍ぶりに父は誇りを持っていてくれました。

食べ物、趣味等、お好きなものは何ですか。

我が家には野菜畑、花畑、池があり、そこで過ごすのが好きです。ウォーキングも好きで、急な傾斜のある所以外はどこでも歩きます。海岸に別荘を持っていて、海で泳いだり、波乗りをしたり、髪を風になびかせながら海岸を歩くのが好きです。また、てんぐさを採集しています。これは日本への輸出用で、実験室で組織培養に使われる寒天になります。

夫と私は旅行が大好きで、旅行先の食べ物を食べるのが好きです。今までにカナダ、アメリカ、メキシコなど、世界中の多くの国々を旅してきました。旅先で人々と会うのも好きです。日本は初めてなので、とても楽しみにしています。

日本では何をなさりたいですか。

出来るだけ多くのI T Cメンバーにお会いしたいです。また、京都にある世界遺産や様々なものを見たいと思っています。

日本リージョン事務局通信

Japan Region Office Reports

経理部からのお願い

事務局経理部長 高橋 宏子

各クラブ会計の皆様には、日頃より煩雑なお仕事のお役目ご苦勞様です。期も半ばを過ぎ、新入会員、物品購入の申込み手続きにもご理解をいただき事務処理もスムーズに行うことが出来、皆様のご協力に感謝しています。

この間、遠隔地のクラブの方々とも電話を通じて話し合う機会があり、用件と共にご要望を伺う事もあります。

その主なご要望として

- ・新入会員の会員ピンを事務局で購入したい。
- ・マスターマニュアルを導入式の時に渡したい。

何か良い方法はないか考えてみたいと思います。

◆経理の方から特に注意してほしい事柄として

1. ドル換算レートの変更について

今期は変動が激しく、すでに数回変更しています。お知らせはリージョンメールと共に送付していますが、間に合わない場合は、カウンスル例会にてお知らせ致します。ご注意ください。

2. 振り込みの際の注意として

既に連絡済みの事ですが、送金には必ずクラブ名と会計の姓だけをいれて下さい。会計個人の名前だけでは、こちらは何クラブか判りません。事務処理をする際にクラブ探しをする事になり、とても煩雑です。ご協力下さい。(記入例：葵 高橋)

3. 継続会員の年会費取扱いについて

今期より継続会員の次期年会費は各クラブ会計より直接 I T C 本部へ7月に送金をお願い致します。事務局経理では取扱いを致しません。送金方法は、最寄りの郵便窓口にて専用の用紙(国際送金請求書兼告知書)を受取り必要事項を記入します。会費は(30名として\$ 900となる)ドル為替を組み(為替1枚は\$ 700迄、従って2枚となる)“Annual statement of club membership”の用紙に記入した会員名簿と共にドル為替を同封し、個人送り(局送り、個人送りの2種類がある)として国際郵便物書留にて送金する。詳しくは、第3回リージョンメールにて各クラブ会計にお知らせしております。

以上お判りにならない場合は、経理までお問い合わせ下さい。よろしくご協力下さい。

資料部より

事務局資料部長 榎村 元子

資料が個人販売になり半期が過ぎました。各資料部員はじめ会員皆様のご協力により売上も順調に伸び、予算達成の見込みもつきほっとしております。また狭いスペース及び費用の点で全ての資料・物品をいつも十分に保持することはとても難しく、物によっては皆様にご迷惑をかけているかと思っておりますがご理解ください。

なお、事務局へ資料・物品を依頼される場合「至急送付」を希望される会員が少なくありません。事務局では、事務員1人で週2日1800人以上の会員を対象に多くの仕事を手がけております。せめて1週間の余裕をもって申し込まれるようお願いいたします。

6月3日のリージョン大会には例年にならない資料・物品の販売をいたします。ご利用ください。

第17回 I T C 日本リージョン年次大会—京都

Guide for ITC Japan Region 17th Annual Conference—Kyoto

「充実した一日大会を…」

大会準備委員長 寺内 紗智子

春爛漫の季節がやって参りました。京都でのリージョン大会まで、1ヵ月余りです。リージョン大会への登録はお済みでしょうか？ 今期は日本にITCが誕生して50周年、又、その記念すべき年に初めての世界大会を7月に控えてのリージョン一日大会です。準備委員会一同は効率的な、しかもたのしい大会を、と心より願いつつ準備をしています。ただひとつ会員の皆様方にお願ひがあります。予定通りに大会が進行しますように時間励行を堅くお守りください。大会はほとんど国際会館の1階で行いますので部屋の移動は出来るだけ俊敏に行動してください。

会員の皆様是非ご出席ください。必ずコミュニケーションの輪が広がる事でしょう。教育セッションも充実しています。“リージョン大会”参加から得るものが多くありますことを望んで、大勢の皆様のお越しを心からお待ち致しております。1999年6月3日にお会い致しましょう。

テーマ

「世界の友で地球を小さく」
“Friends Make the World Smaller”

開催日：1999年6月3日（木）

場所：国立京都国際会館

議会法規役員から

「日本リージョン大会への派遣員の皆様へ」

日本リージョン議会法規役員 鈴木 宏 子

今期のリージョン大会は7月に世界大会を控えていますので、特別に6月3日、1日だけで行なわれます。派遣員へのブリーフィングは9:00より1階会議場Dで行います。リージョン大会への派遣員は、登録を済ませて必ずご出席ください。

派遣員は、役員及び指名委員の選挙、審議に於ける討議と表決への参加などの任務があります。提出されている会則・常規の修正案や決議案を十分に理解し、自クラブの意見を代表してくださると同時に、討議により、その場で出てきた修正案や流れに対応して、あなた自身の判断で自信を持って投票する為に、会則や議事法マニュアルなども読んでおいてください。

もし時間内に審議が終わらない時には、教育セッションの時間に同時進行で行われます。礼儀と公正を守って、活発な建設的な意見の交換と審議が行われるようご協力ください。

委員会委員長メッセージ

Messages from Committee Chairs

ーリージョン大会への派遣員のみなさまへー

選挙委員会

Election Committee

「未来に目を」一票を大切に

委員長 門 奈 具 子

今年永年の夢であった世界大会が日本で開催されます。日本リージョンが世界で占める位置が益々大きくなって参ります。クラブでは意見をまとめ大切な一票を投じましょう。

大会では次期役員及び指名委員3名(異なるカウンスルから1名ずつ)の選挙を行います。

投票について

- 1) 投票は登録された派遣員によって6月3日昼食時に行われます。昼食は必ず申し込んで下さい。昼食券は忘れずに。会場はスワンの間です。すみやかに集合して下さい。
- 2) 投票用紙は、選挙委員会が日用意します。
- 3) 不在者投票用紙は各クラブ会長にお送り致します。一人も大会に出席しないクラブのみ会長の責任で委員長宛郵送して下さい。5月24日(月)必着で二重封筒でお願いします。これを当日開封し総数に加えます。
- 4) 投票数が過半数に満たない場合は再投票致します。
- 5) 日本リージョン会則第5条E項の選挙の項をよく読んで出席して下さい。

派遣員資格確認委員会

Credentials Committee

クラブの代表者として

委員長 岸 本 信 子

派遣員の皆様は、クラブの代表者として大会に参加されます。その証明書である「信任状」を必ずご持参ください。当日はまず玄関左側の受付デスクで個人のキットを受け取ってから、派遣員資格確認デスクで信任状を提示して、派遣員の登録を済ませ、クラブ名の付いた「たすき」を受取り着用してください。「たすき」がないと派遣員席に座れません。

皆様の任務と時間・場所は下記の通りです。6月3日はこの頁を持参の上ご出席ください。

1. 派遣員の資格の確認と登録 8:20～8:50 [会議場D] 入口 (たすき着用)
2. 派遣員説明会に出席 9:00～9:45 [会議場D]
3. ビジネスに出席 10:00～12:10 [メインホール] (大会議場)
4. リージョン役員及び指名委員の選挙 12:10～13:00 [スワン]

*昼食時に選挙がありますので、必ず昼食を予約し選挙委員長の指示に従ってください。

5. 審議延長の場合：審議再開 13:00～14:10 [メインホール] (大会議場)

(延長審議終了後は派遣員のための教育セッションを準備)

審議延長の無い場合：各自第1希望の教育セッションに出席

*延長審議終了後または選挙終了後の退室時に、「たすき」を所定の場所(会場出口)へ返却してください。

●16頁に第17回日本リージョン年次大会開催会場の国立京都国際会館1階の会場図があります。

お知らせ

PEP I. 運営研修会について

日本リージョン次期会長 今井千代子

PEP I. —成果向上のためのプログラム

今期、成果向上のためのプログラム PEP I. (Performance Enhancement Program Phase I) は大会のプログラムの中に組み込まれました。PEP II. が世界大会で行われるものであるのに対して、PEP I. はリージョン大会で行うものです。今回はリージョンとカウンスルの役員・常任委員長を対象とするのみではなく、大会出席者全員が参加できるようにいたしました。公式訪問者ヒラリー・ブラウン・ディビジョンIV副会長をリーダーとし、同時通訳で行います。会場の同時通訳受信機は全座席にあります。日本の会員の多くが、リージョン大会での PEP I. と世界大会での PEP II. を続けて受ける効果は期待出来るものと考えています。

リージョンとカウンスル役員・常任委員長の運営研修会

カウンスル役員・常任委員長の運営研修会は大会の翌日6月4日午前に行います。会長、第一副会長、第二副会長、書記、会計、議会法規、編集、資格認証、予算・財務、会則・決議、増設、広報、スピーチコンテストの13部門です。新しい期に希望を持つ有意義な研修会にしたいと思っています。

リージョン役員のための研修は、その後、公式訪問者によって行われます。関係者には改めて詳しく通知いたします。

研修会予定表

9:00～9:30	受付	Registration
9:30～12:00	カウンスル運営研修会	Quality Management Training
12:00～12:30	リージョン運営研修会	Region Management Training
14:00～15:30	リージョン運営研修会	Region Management Training

リージョン大会における表彰について

日本リージョン第二副会長 佐山昌子

第17回日本リージョン年次大会において、以下の方々を表彰の対象にさせていただきます。

1. 1999年5月20日までにフルメンバーになったクラブ
2. 今期中に20年継続会員になられる方
3. 今期中に30年継続会員になられる方
4. 今期中に35年～40年継続会員になられる方

該当される方は、クラブ第二副会長にお申し出いただき、所属カウンスルでまとめて1999年4月30日迄にリージョン第二副会長へお知らせ下さい。

表彰式は晩餐会の席上にて行いますので、ぜひご出席下さいますようお願い申し上げます。

教育セッション役割変更

B講座「あなたは漫画をどう読みますか」読解者代表モグベル・マヒン(阪神)→伊庭文子(阪神)

日本リージョン大会準備委員会より

食事

委員長 宮崎 光子

食事（昼食、晩餐会）の際には、キットの中に入っている食事券を必ずご持参下さい。

儀典

委員長 野村美智子

- 1) 今年も会長の入場行進が行われます。皆様メインホールにご参集下さい。
- 2) 派遣員ブリーフィング、議事会議等、指定席表は事前に関係者に郵送致します。
- 3) 晩餐会で指定席のある方には登録キットに券を入れておきます。

名札・リボン

委員長 長尾 悦子

- 1) 大会で使用する名札・ピンは各自ご持参下さい。
- 2) 大会用の役職リボンはキットに入れてお渡し致します。終了後、受付にある回収箱に必ずお返し下さい。ご協力をお願い致します。

ホスピタリティ

委員長 安藤 雅恵

会員休憩室と打合わせや連絡の場としてメインホール横の“158号室”を用意しております。事務用品、ソーイングセット、お茶、メンバー手製のブランデーケーキ等を準備致します。ご自由にご利用下さい。会員の皆様にほっと一息していただく場ともなります。

インフォメーション

委員長 山田千恵子

インフォメーションデスクは正面玄関から受付を通り突き当たり右手のスタンドグラスの前に設けます。メッセージの受付、連絡、忘れ物など、皆様の問い合わせに対応出来るよう準備しております。ご利用下さいませ。尚、ビジネス、教育セッション、スピーチコンテスト、晩餐会などの時間帯はクローズしておりますのでご了承ください。

写真

委員長 西原久美子

大会の記録写真と会員の参加記念写真（晩餐会の時、各テーブル毎に集合写真撮影）を写真家に依頼致します。写真のお申込みはキットの中の写真封筒に予め代金（1枚500円）を入れて、晩餐会の時にご持参下さい。後日クラブ会長宛にお送り致します。

*写真サロンを会場の一角に開設致します。思い出の記念撮影（普及判1枚50円）として気楽にご利用下さい。

*会場内で写真家に個人的なスナップ撮影の依頼はご遠慮ください。

*スピーチコンテスト中は撮影禁止です。ご留意下さい。

物品販売

委員長 西村 温子

「京のおみやげ」の予約申し込みはお済みでしょうか。お申し込みの方には予約券をキットに入れますので、大会当日および6月4日の午後、券と引き替えにお受け取り下さい。

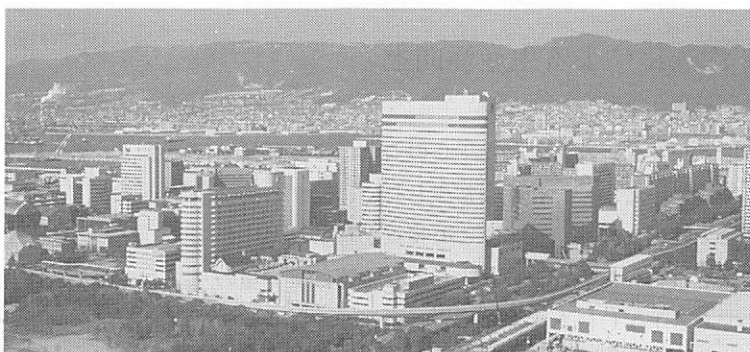
観光・交通

委員長 北丸 幸子

緑萌える美しい6月、さわやかな京都の名所・旧跡を是非お楽しみ下さい。もうお申込み頂いたでしょうか？ 参考コース以外にも、いろいろ観光デスク（インフォメーションの左側）にとり揃えています。タクシー料金は割安になっております。（会報第2号16頁を参照）

第58回 I T C 世界大会の開催をめざして

Toward ITC 58th Annual Convention



百の情報をもって一見しよう

広報委員長 広瀬 忠子

チャレンジ精神の旺盛な I T C メンバーは、ぜひ世界大会に参加しましょう。

毎年外国で行われる世界大会に行く為には、費用・留守にする為の準備・外国で病気にならないよう自分の体の調整などと出掛けるまでが大変!! そして現地に着くまでの時間も長い、やっと大会に参加しても英語でのビジネスのやり取りは良くわからないなど…。

今年日本の神戸で開催されますから、こんないいチャンスを逃がすと本当にもったいない。今から日程を調整してカレンダーに大きなマル印をつけておきましょう。せっかく大会に参加するのなら沢山の有形無形の収穫を得たいものです。

大会は7月17日から21日まで、神戸ポートピアホテルで行われます。

皆さんが一番心配していらっしゃるの、英語で行われるビジネスやワークショップなど理解できるかなと言うことではないでしょうか。大丈夫です!! その為にビジネス全部に通訳があり、又主なワークショップにも殆ど通訳がつきますので安心して下さい。ではビジネスに出た時にどうすればよいのでしょうか? それにはクラブで修正案をよく研究したり、審議の在り方について考えておくことが必要です。世界中から集う I T C のメンバーはそれぞれ自分のクラブで同じ目的に向かって勉強している仲間なのですから、お互いのクラブの運営法・プログラムについていくらでも話は弾むことだと思います。しかし日本の文化について聞かれば説明できるように物知りになっておくことも大切です。昼食会・晩餐会などで語学の出来る方は会話を楽しむチャンスとして、又英語力がなくても筆ペンで「漢字」を書いたり折り紙を折ってみせると、あなたはきっとテーブルの人気者になるでしょう。こうして出来るだけ外国の方々と隙間を作らないで、気楽に付き合うと世界中にお友達の輪も広がるでしょう。震災の後復興した神戸は以前にも増して美しく、エキゾチック、オシャレな街です。この街で開催される国際的な大会の雰囲気の中へ日本リージョンメンバーここにありと胸を張って参加しましょう。

通訳委員会からのお願い 大会開催中、ホテルのロビー等で英語、日本語で困っておられる方々から、気軽に声をかけられるようなボランティア通訳をして下さい。名札は会場入口で渡します。

考えてみましょう。これからのITC

Food for Thought for the Future of ITC

流線化による生産性向上

サンデークラブ 白垣 駿一

ITCに入ってから3年が経った。未だITCのことはよくは分っていない。私にはITCのことをこれから何うしたらよいか、一般社会常識としては論ずる資格はない。唯、大部分の会員の方より少しだけ実社会で働いた経験が長い。この視点からこれからのITCを考えてみよう。

今、産業界では不景気のため、企業の生き残りを賭けた究極のリストラとか合理化が行われている。非営利団体であるITCにあっても投資（会員の払う会費）に対する収益（会員の受ける無形の成果）が少なければ評価が下がり衰退していくのは、厳しさの程度は違っても、企業と同じではあるまいか。ITCを一つの企業として扱い、その生産性について考える。例えば鉛筆を削るという仕事があるとする。この動作を分析すると①鉛筆を左手に持ち、②右手にナイフを持つ、③鉛筆を削る、④ナイフを元の所へ返す、⑤鉛筆を元の所へ返すという5つの動作に分解される。この5つの動作の内、「鉛筆を削る」という目的に対して③だけが合致しているので主動作とすると、①、②、④、⑤はその補助作業に過ぎない。然し補助作業無しには主作業を行うことが出来ないのである。①②③④⑤をそれぞれの動作の所用時間とし、③'は所用時間に付加価値を加えたもの或いは製品の出来高とすると、

$$P = \frac{\textcircled{3}'}{(\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5})} \times 100$$

このPが所謂、生産性（%）である。生産性を上げるには主作業の価値は出来るだけ増やし、補助作業の所用時間を出来るだけ減らさなければならない。主作業とは企業にとって目的そのものであり必要な限りなくすることは出来ない。補助作業が無いと主作業ができないし、補助作業は減らす必要はあるが、絶対にゼロにはならない。企業では収益を上げるために、この生産性を上げることに全力を傾けている訳である。

さて、この生産性をITCに適用してみる。真に必要なこと、主作業とは何であろうか。それはITC宣誓にある「指導力の養成」、「話し方の向上」とかそれを敷衍（ふえん）したマスターマニュアル、各種マニュアルに示されているトレーニングそのものである。例会の中のビジネスを主作業と見るか補助作業と見るか議論の分かれる所であるが、役員にとってはトレーニングの場であり、主作業と考えたい。マニュアル通りやるのは面倒だからもっと簡単にしたいという意見もある。私は一般にマニュアル通りの方が生産性が良いし、常に新入会員がいることを考えると、マニュアル通り基本に忠実にきちんとやるのが望ましいと思う。

問題は主作業を実行するための準備とかカウンスル等、上のレベルとの連絡、関係作業が所謂、補助作業と呼ばれるものである。前述のように生産性向上のためには出来るだけ減らす必要がある。機能を損ねず（むしろ、機能は上げて）、不要な部分を取り除き必要最小限とするのだから、簡単

化とか簡素化ではなく、簡潔化とか流線化（Streamlined）である。新幹線でも第一世代、第二世代そして第三世代と、速度が速くなるに従い、列車を早く走らせるのに抵抗になるものが取られて、だんだんと流線型に近付いている。昨年のミネアポリス世界大会では参加者が大会の評価を書いて提出するようになっていた。然し、この種の調査が整理されて改善の措置が取られたという例を余り知らない。これをシステム化、即ち、常に実行結果をフィードバックして改善の措置を取る責任体制が必要である。日本企業のTQC小集団活動もお手本となろう。幸いなことに、ジーン・ターナー会長の就任演説で今や英語になってしまっている Kaizen（改善）が使われ、連続的改善委員会なるものが作られる模様で、この計画に期待すること大である。

会員一人一人の改善意識とそれを着実に実行させる地道な努力が今、ITCに求められている。

「私も考えてみました」

名古屋クラブ 鈴木 宏子

第1号と第2号の「考えてみましょう。これからのITC」を読んで、私なりの意見を述べさせていただきます。

アメリカ本土に於ける会員数の減少について、1998年、ミネアポリスのITCコンベンションでのミュリエル・ブライアント事務局長の「あらゆる会員増強のための試みが全て失敗に終り会員数の増加を計ることが出来なかった」という悲痛なスピーチがまだ耳に残っています。アメリカでは何故会員数が減少の一途を辿っているかを考えてみると、組織の会員数の減少はITCのみでなく世界のどの組織も体験している深刻な現実です。社会生活の多様化と女性の社会進出は、一つの組織に長くかかわっている事を難しくしました。世の中には魅力的な事、資格を取るための色々なビジネススクール、文化センターも増えました。アメリカではコミュニケーション技術の向上と議事法の勉強に絞り過ぎて、ITCの組織をビジネススクール化したことが一番の原因と考えます。日本でもビジネススクールに入学した人は技術を習得したら、実社会でそれを生かし、一層その技術を伸ばすために、卒業していくと思います。私を含めて誰が、20年も30年も同じ所に止まっているでしょうか。

年齢も間もなく70才に達しようというのに、今なお、毎月の例会にでかける、この会の魅力は何でしょうか。かつて日本のITCのクラブが3つか4つしか存在しなかった時には、カウンスルのこともリージョンの事も考えなくて済みました。カウンスルが出来て4回の会合の出席、リージョン大会への出席、日本の会員は律義に出席しますが、アメリカ本土では派遣員とクラブ会員の一部の人が出席するだけのようです。ITCの組織のレベルが複雑化したことが、会員数の減少を生んだのでしょうか。しかしその反面、会員はそれぞれのレベルでいろいろな経験のチャンスが得られるようになりました。例えば編集の仕事は家庭の主婦では減多に味わえない編集と出版という得難い、楽しい経験をカウンスルやリージョンで体験できます。クラブの役員を経験した後にカウンスル、リージョンの役員になれば、更に大きな舞台でのいろいろな体験ができますし、日本中の会員とも役員会を通じて友達になれます。その体験はその人を一回りも二回りも大きくしてくれます。コーディネーターとしての体験は子供の結婚式や大きな同窓会を行うのにも役立つでしょう。

日本のI T C会員の70%は家庭の主婦ですが、主婦は料理、洗濯、掃除、育児どれもベテランで上手にこなしていますが、それぞれのプロではありません。I T Cでスピーチの訓練や議事法を学びますが、それもプロとして通用するほどのレベルではありません。1ヶ月に一度の授業では1年でも12日です。20年で240日、学校の一年間ですが、私たち日本のI T C会員はゆっくと学んでいます。

日本リージョンが今なお会員数が増大し世界で一番大きなリージョンと成り得たのは、専門家養成ではなく、家庭の主婦を対象とするレベルを保ち、しかも他の文化センターでは学べないコミュニケーション技術とリーダーシップの訓練と実技の場を提供してくれるからだと考えます。このレベルなら私は周りに一杯いる専業主婦の人達を会員に誘うことが出来ます。毎日の生活にマンネリズムを感じている主婦には、I T Cは刺激と楽しみと生きがいを与える効果があります。あまりI T Cを難しく、専門化しないで欲しい。難しくすると特殊な人しか誘えなくなりますし、これから増える高齢者も楽しんで会員でいられるクラブであってほしい。又社会で活躍した後、家庭で子育てに追われ、社会から隔離されていると感じている母親たちの、社会への接点ともなってほしいと思います。

最近、あるフォーラムを開催するのに、I T Cやその他のクラブの方々に呼び掛けました。司会、挨拶、質疑応答、どれもI T Cの会員は訓練の成果を発揮してくださいました。本当にI T Cの訓練の成果を目の当たりにする事ができました。

事務局からの思い

日本リージョン事務局長 鶴 飼 恵津子

◆去る2月25日突然コンピューターのモニターが壊れました。コンピューターに強く、労を惜しまない会員の働きで、代替りのモニターを運んで修理完了まで急場をしのぎ、幸いデータは保護されました。このような予期せぬ事態にも備える必要を考える機会となりました。

◆事務局の移転、独立によって業務がし易くなりました。会員の事務局使用料の入金は経済的に大いに助かっていますが、使用料についてはせめて公共施設なみの料金に値下げができないものかと思えます。

◆1998年6月事務局体制研究特別委員会は一部会員の過重負担を減らし、雇用事務員に業務を移すことを提言しました。口座開設、資料販売の方法等実行に移しましたが、業務が多くなればなるほど雇用事務員ではまかないきれず、一部会員の負担に頼ることになります。これでは特別委員会の提言に添えず、人件費の問題も有りますが、雇用事務員の増員を考える時にきているのではないかと思います。皆様は如何お考えになられますか。



今、私達のクラブは……

"Now, Our Club is. . . ."

—男性会員編—

地域社会への参加

筑波クラブ 相田悦男

筑波クラブは今年で16年目を迎える、英語で例会を行うクラブです。英語で例会を開く1つの利点は、日本語の思考回路とは別のもう1つの思考回路を持つことで、より広い意味での多種多様性を認めるコミュニケーション能力を身に付けることだと思います。当クラブは、異なる価値観と生活習慣を持つ人達とのコミュニケーションを前提として、物事を定義しながら誤解の生じない明確な表現方法を学んだり、自由な発想を育む環境を造りだしています。教育問題が大きくクローズアップされ、家庭内のコミュニケーションが重要視されている今日において、当クラブ会員は、評価スキルの重要性を再認識しています。相手の優れた点を認め、現状を正しく理解しながら相手に建設的なアドバイスをするスキルを学び、それらを個人レベルの活動分野で適用しています。

筑波クラブ会員は、クラブ内の個人レベルでの評価だけでなく、外部、つまり地域社会でのクラブの評価も受け止めながら、実社会とのコミュニケーションスキルを学ぶ時期にきています。その第一歩は、20周年目を迎えたときの地域社会におけるクラブの位置づけを1つのクラブビジョンとした、地域社会への参加と考えています。

Commitments to the local community

Etsuo Aita, Tsukuba Club

Tsukuba Club attains to the 16th years and runs its regular meeting in English. One of advantages of running regular meeting in English is that it provides an opportunity for acquiring ability in communication to acknowledge diversity in a broad sense with two different ways of logical thinking, both in English and in Japanese. Our club also provides an opportunity for learning how to express clearly by showing examples or definitions without creating any misunderstandings among others who have different values and customs, and encourages to think freely. In these days when education issues become a main topic and communication in a family sets its value above everything else, our club members realize again how evaluation skills are so important. As the members learning communication skills for acknowledging good points of others and giving them constructive advice while understanding its circumstance, they apply those skills to their own fields in daily life.

The members of Tsukuba Club faces the time to learn skills for communication with real society while being evaluated as the club by the local community apart from being evaluated only by other members internally. The first step for this is to show commitments to the local community with a certain club vision where the club would be and now it would work in the local community when Tsukuba Club reaches the 20th anniversary.

黒一点の自分

瀬戸内クラブ 坪井 隆

今、私達の瀬戸内クラブは会員数が27名に増え、毎回85%~90%位の出席率で、例会では緊張したり、賑やかになったり、男性会員の私はカメレオンの様に赤くなったり、青くなったりしています。でも一生懸命です。第7回スピーチコンテストは2月12日に終わりました。4人のスピーカーで競い、私もスピーカーとして頑張りました。安芸、岡山、福岡、徳山、尾道の各クラブの皆様が遠い所から大勢おいでくださり、盛況に、尚且つ引き締まったスピーチコンテストが出来まし

た。会員も準備が大変だったと思います。

男性の私が女性ばかりの瀬戸内クラブへ入会したのは4年ぐらい前のことです。少しでも人前で「緊張せず話すことが出来たら」の思いからでした。会員の方々からは非常に大切にいただき、感謝しています。

石の上にも3年はもう過ぎましたが、居心地の良いクラブへ入ったと思っております。

まだまだこれからITCで勉強する事もいっぱいあります。いろいろな人との出会いも楽しみの一つです。皆様も瀬戸内クラブへゲストでおいで下さい。楽しいですよ。

4月には尾道の西国寺で野外例会があります。この頃は桜の花も満開だと思います。これからも全員で努力を続けて行きたいと思います。

ヒラリー・ブラウンさんご推薦、観光地タウポ

"Taupo" – Hilary recommends to visit

Hilary Brown

I could recommend so many places to visit in New Zealand but will choose the town where I live, Taupo. It is in the centre of the North Island on the shores of the largest lake in New Zealand. The lake is 40 kilometres from one end to the other. There are several geothermal power stations in our area and we have boiling mud pools. In the home we have a thermal pool which is especially nice to use in the winter time. Our house looks straight down the lake to the 3 mountains which are 1 hour's drive away. My family all enjoy skiing there in the winter.

Taupo has a population of 19,000 people, 4 golf courses, wonderful trout fishing on the lake and rivers, bungee jumping, paragliding, parachuting, windsurfing, yachting, wonderful walking tracks, jetboating. It is famous for its honey products and its freshwater prawn farm. This is just a taste of what we have to offer and the reason I have chosen Taupo is because we live here and really enjoy having people to stay. So you know that there is also accommodation if fellow ITC members wish to visit us. Four years ago we had a Japanese daughter, Miki, who lived with us on a Rotary Exchange. (We have also hosted Danish, South African and Canadian students.)

ニュージーランドにはお勧めする場所が本当にたくさんありますが、やはり私が住むタウポを挙げたいと思います。タウポは北島の中心にあり、ニュージーランド最大の湖に面しています。湖は直径が40キロあります。この付近には地熱発電所がいくつかあり、熱い泥状の沼があります。我が家には温水プールがあり、冬場にはとても便利です。我が家からこの湖や3つの山を見渡せます。山までは車で1時間で、ここで私達は冬にスキーを楽しみます。

タウポの人口は19,000人です。4つのゴルフコースがあり、湖や川では鱒釣りができます。バンジージャンプ、パラグライダー、スカイダイビング、ウインドサーフィン、ヨットやジェットボートが楽しめ、素晴らしいハイキングコースもあります。タウポは蜂蜜や淡水えびの養殖で有名です。これがタウポのすばらしさです。タウポを選んだ理由は、私自身がここに住み、多くの人がこの地を訪れるのを嬉しく思うからです。よろしければ、我が家に泊まってもらっても結構ですよ。4年前みきさんという日本人の娘さんがロータリーの交換留学で我が家にホームステイしました。(他にもデンマーク人、南アフリカ人、カナダ人の学生もホームステイしたことがあります。)

情報スペース

Information Space

◆日本リージョンプログラム・教育委員会より

・毎月のクラブ例会で行われるプログラムの目標と方向をチェックし、効果的なプログラム計画がなされる為のチェックシート「プログラム向上の為に」を作成し、全クラブに配布いたしました。参考の一つにしてご活用下さい。

・マスターマニュアルの“今日の話題”について——カウンスルNo.3からの質問

1992年初版は「与えられた論題で即席スピーチをすること」、1994年再版では即興となつていますが、日本リージョンでは即興スピーチの見解とします。又“今日”の読み方はキョウでもコンニチでもよいとします。

◆Division IV Global Connections より



Kotobuki Congratulations! Felicitations! Longevity!
This year's convention pin which ties in with the Kotobuki theme, has arrived and is beautiful. It will be available to members at the convention in Japan. This is the third year in which pins have been produced at US\$5 per pin. They are fast becoming collectors' items and your International Visitor will have a few from the previous years available for sale when attending your conferences. These are also \$5 each.

寿 Kotobuki おめでとう 祝賀 長寿
寿のテーマに合わせた美しい今年のコンベンションピンが届きました。会員は日本の大会で購入できます。ピンを5ドルで販売するようになって今年で3年目です。早くも収集品目になっています。国際訪問者が過去のをわずかですが持参しますので、リージョン大会でお買い求めいただけます。やはり、一つ5ドルです。

◆役員及び役員の住所、電話、Fax.の変更

カウンスルNo. 2 神戸クラブ 会計 立花真琴 → 栗生尚子

カウンスルNo. 3 姫路クラブ カウンスルへの派遣員 田隅聖美 Tel. & Fax. 0792-98-0925
新住所 〒670-0092 姫路市新在家本町 6-6-6

カウンスルNo. 4 九州クラブ カウンスルへの派遣員 塚崎彰子 → 永嶋順子

カウンスルNo. 5 豊中クラブ 第一副会長 平井典子 Tel. & Fax. 06-4399-1818
新住所 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 5-18-9

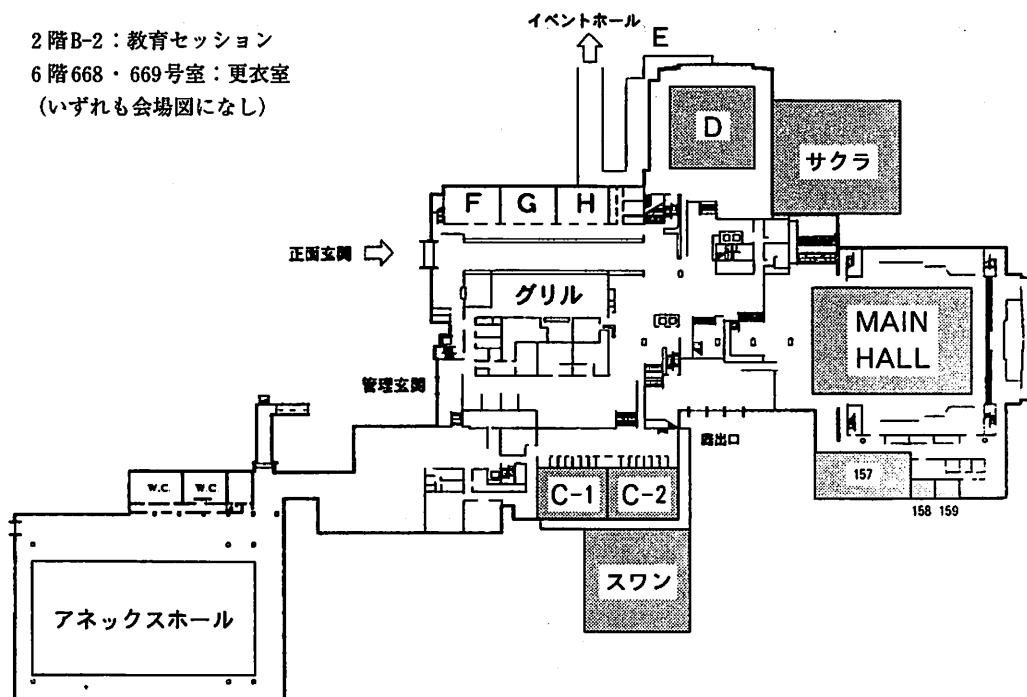
カウンスルNo. 6 京都クラブ カウンスルへの派遣員 大藪省子 Fax. 841-4393 → 781-1263

◆Japan Region Vol. 17, No. 2 の訂正

25頁4行目 Tel. 0857 → 0859 と7行目米子サンデー → 米子マンデーと訂正。

◆第17回 ITC日本リージョン年次大会会場 国立京都国際会館1階の会場図

2階B-2：教育セッション
6階668・669号室：更衣室
(いずれも会場図になし)



- | | | |
|---------------|--|---|
| * C-1：教育セッション | * 会議場D：ブリーフィング
教育セッション
スピーチコンテスト
(英語) | * MAIN HALL: 入場
ビジネス
PEP I.
スピーチコンテスト
(日本語) |
| * C-2：教育セッション | | |
| * スワン：選挙 | | |
| * サクラ：昼食 晩餐会 | | |
| | * 157号室：教育セッション | |
| | * 158号室：ホスピタリティ | |

—編集室便り—

編集に携わって一番の楽しみは、出来上がった会報を手にするのは勿論、それ以上に読んで下さった方から感想、意見、評価をいただくことである。

編集会議→原稿依頼→原稿チェック及び一部翻訳→レイアウト→印刷の打合わせ→校正(2~3回)→印刷→発行という手順であるが、その他に目に見えない微妙な気配り、作業を要する。そして、一人でも多くの方々に読んでいただけるようにと願いながら努力しているつもりである。

皆様からの感想、コメントは私達のエネルギーのもと、ぜひ「栄養剤の差し入れ」をお待ちしております。

編集者——榎本町子
スタッフ——米田隼子/十河尚子/辻本貴満子

—From Editor's Room—

The biggest pleasure for us who are engaged in editing is to receive comments, opinions, and appreciation from readers, as well as to get a newly published bulletin.

Editorial meeting → requesting articles → checking manuscripts and translating some of them → layout → meeting with the printer → proofreading (2-3 times) → printing → publishing are the procedures, but besides them we need delicate care-taking and tasks behind the scene. We are working hard hoping that many members will be interested in the articles.

Your opinions and comments are sources of our energy, so we are waiting for your "nutritious offerings".

Editor: M. Masumoto
Staff: I. Yoneda, H. Sogo, and K. Tsujimoto

第17回日本リージョン大会スケジュール

日	時																			
1999. 6. 3 国立京都 国際会館 京都・宝ヶ池 075-705-1234		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21					
			登録・受付 8:30 — 9:45	ビジネス 10:00 — 11:25 審議			審議延長 13:00 — 14:10 (教育セッション) (R・Dのみ)				報告 16:25 — 16:40 選挙発表									
			R・D説明会 9:00 — 9:45			PEP 11:25 — 12:10 同時通訳														
						昼食 12:10 — 13:00 選挙														
							教育セッション 13:00 — 14:10													
							14:10~14:25 コーヒーブレイク													
							speech contest 日本語													
							speech contest 英語													
							13:00 — 14:10 14:25 — 16:25													
						本 部	ホスピタリティ													
					来 賓 接 待							受付 17:00~17:30	晩 餐 会 17:35 晩餐・役員就任式・余興							

プログラム・教育委員会

ITC日本リージョン声明文

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供し、リーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

Mission Statement of Japan Region

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.